

米国景気概況 (2021年4月)

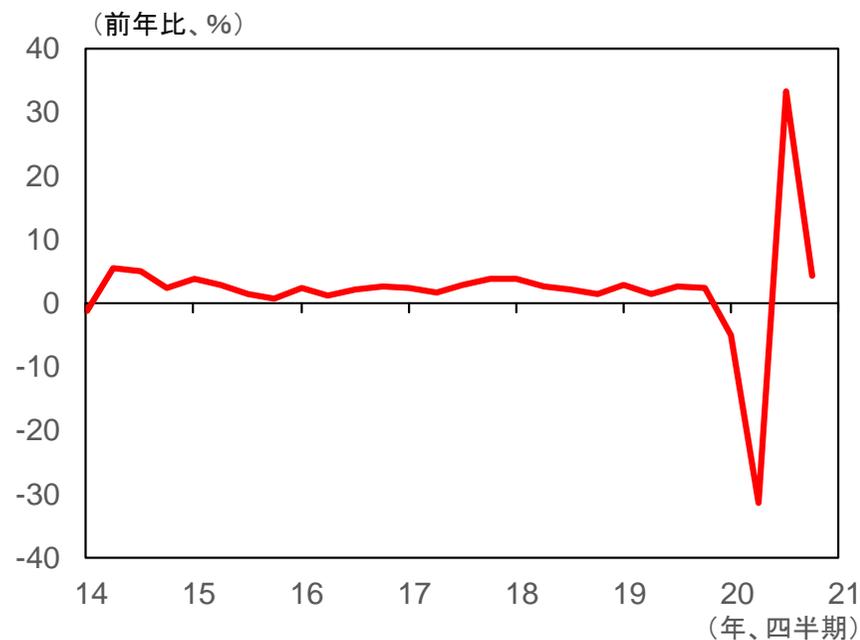


主任研究員 細尾忠生 tel: 03-6733-4925
mail: hosoo@murc.jp

米国景気概況：景気は持ち直しの動き

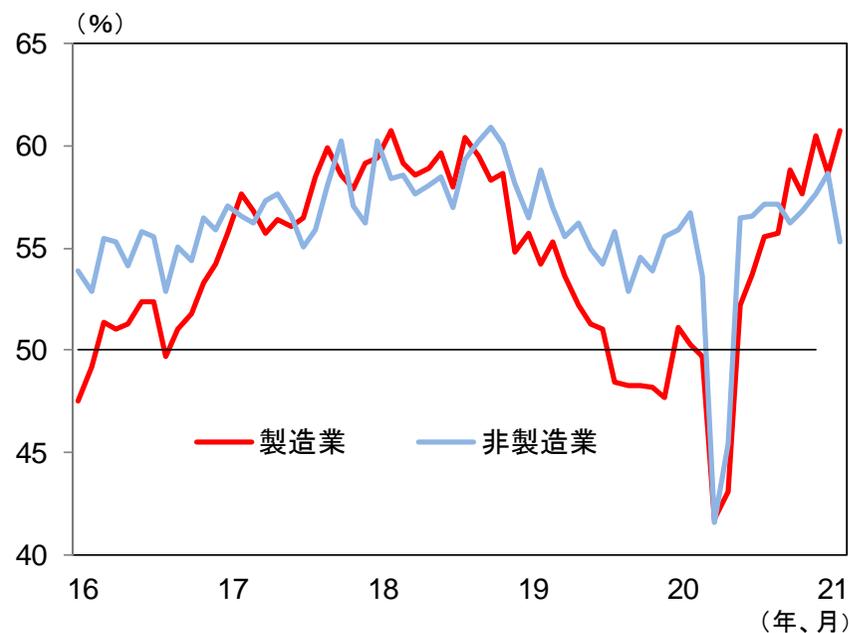
米国経済は持ち直しの動きが続いている。昨年10-12月期の実質GDP成長率(確定値)は、新型コロナ感染再拡大の影響などから前期比年率+4.3%と7-9月期の大幅増から減速した。もっとも、昨年末に成立した総額9,000億ドルの追加経済対策の効果もあり、新型コロナの感染が再拡大した中でも、1月以降の主要経済指標は再加速した。総額1.9兆ドルのさらなる経済対策も成立、ワクチン接種の普及も進み、景気の回復ペースは一段と加速する見通しである。

実質GDP



(出所)CEIC

ISM



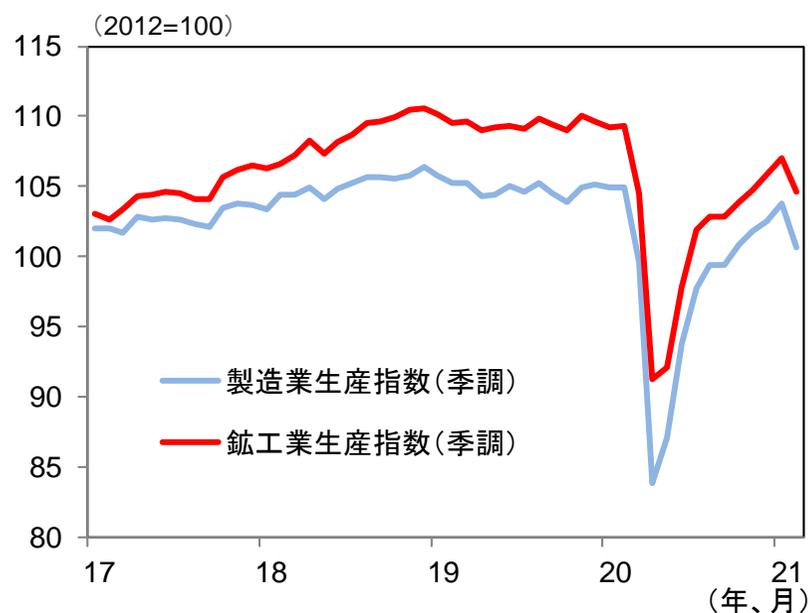
(出所)CEIC

米国景気概況：企業部門、雇用

企業部門:2月の鉱工業生産は前月比▲2.2%減少。記録的な寒波の影響で、石油精製所などの稼働が一時的に停止した。設備投資の先行指標である2月のコア資本財受注は同▲0.8%と10ヶ月ぶりに減少した。

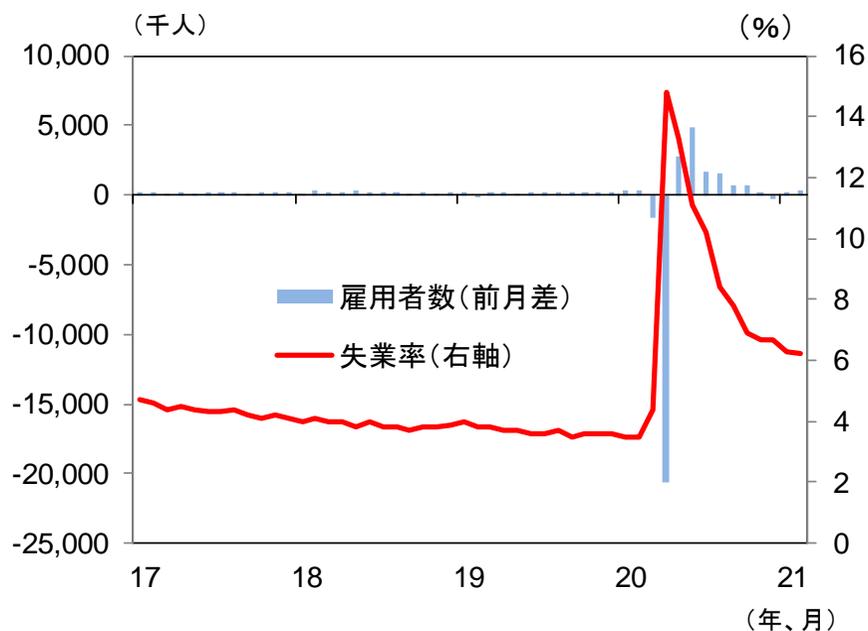
雇用:2月の非農業部門雇用者数は前月差+37.9万人と2ヶ月連続で増加した。失業率は6.2%と、コロナ禍前と比べると依然として高水準にあるものの、緩やかな改善が続いている。

鉱工業生産



(出所) CEIC

雇用



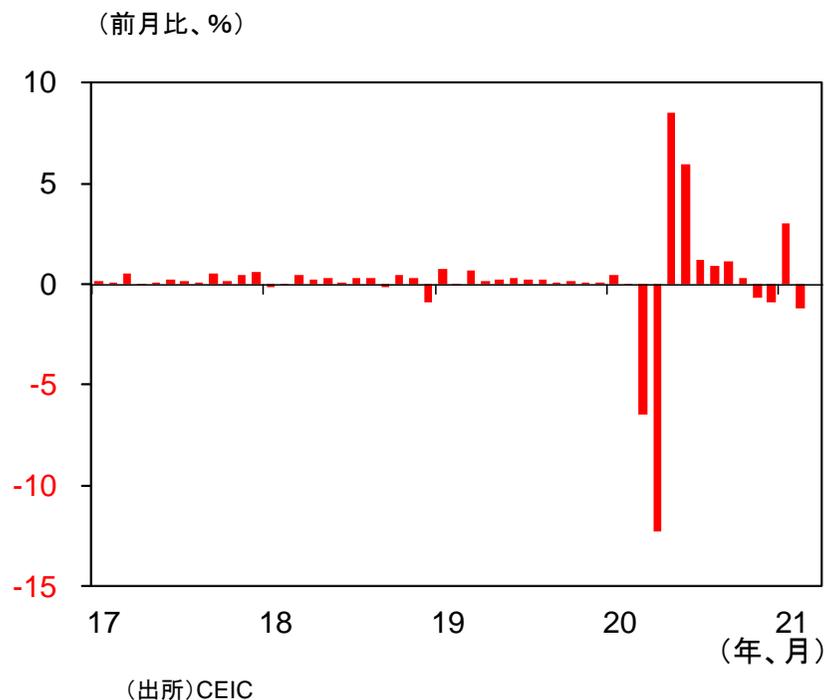
(出所) CEIC

米国景気概況：消費、物価

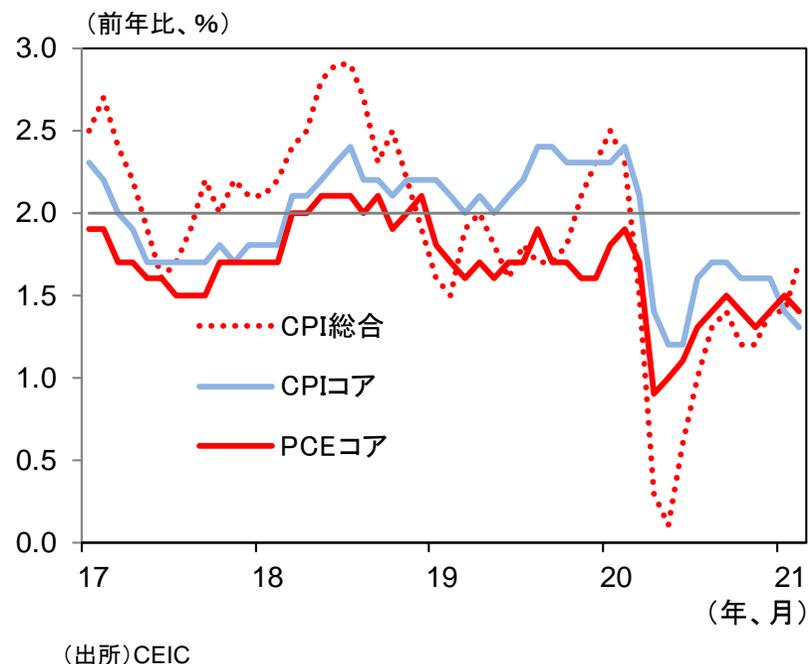
個人消費：2月の実質個人消費は前月比▲1.2%と、1月に600ドルの現金給付の効果により大幅増加した反動で減少した。寒波の影響も消費を下押ししたとみられる。

物価：FRBが重視するコアPCEデフレーター上昇率は、2月に前年比+1.4%と前月から小幅低下した。

実質個人消費



物価

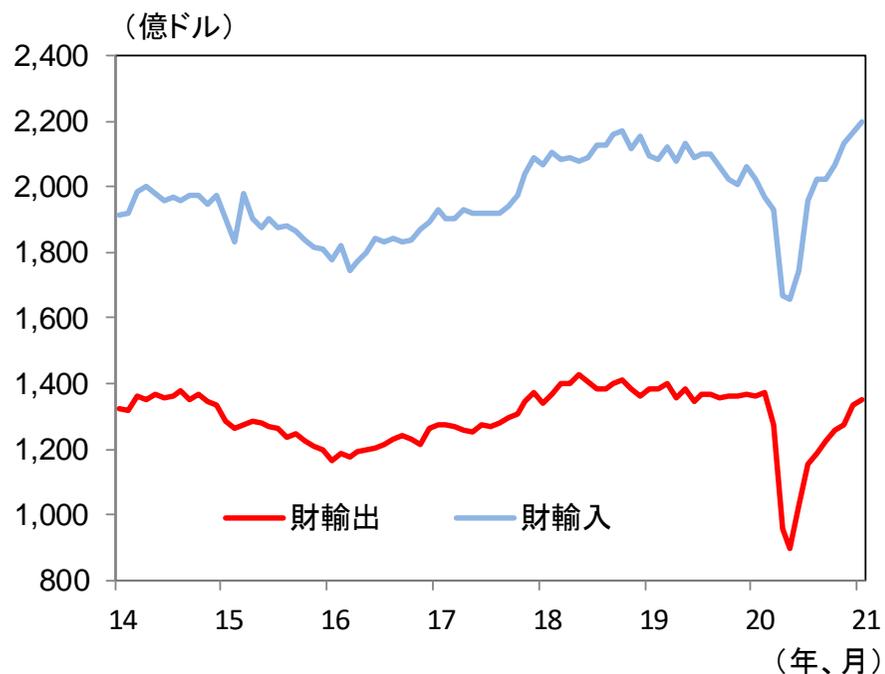


米国景気概況：対外貿易

1月の財輸入は前月比+1.6%、財輸出は同+1.5%と増加し、貿易赤字(財)は▲846億ドルと小幅拡大した。

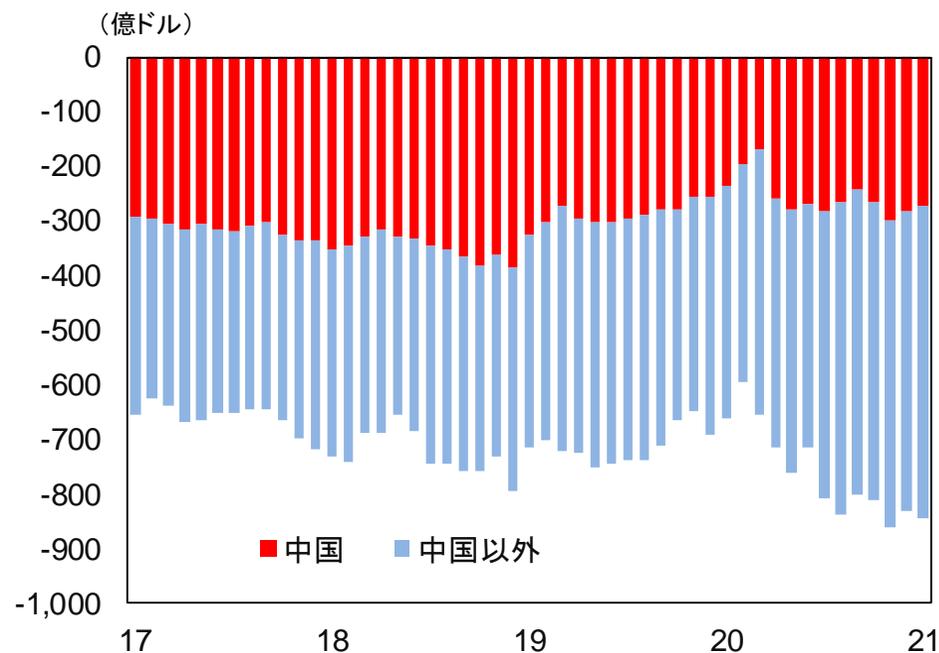
国別にみると、最大の赤字国である対中国(▲272億ドル)の赤字幅は縮小したが、対カナダ(▲20億ドル)、対メキシコ(▲119億ドル)などの赤字幅が拡大した。

財輸出入



(出所)CEIC

貿易赤字



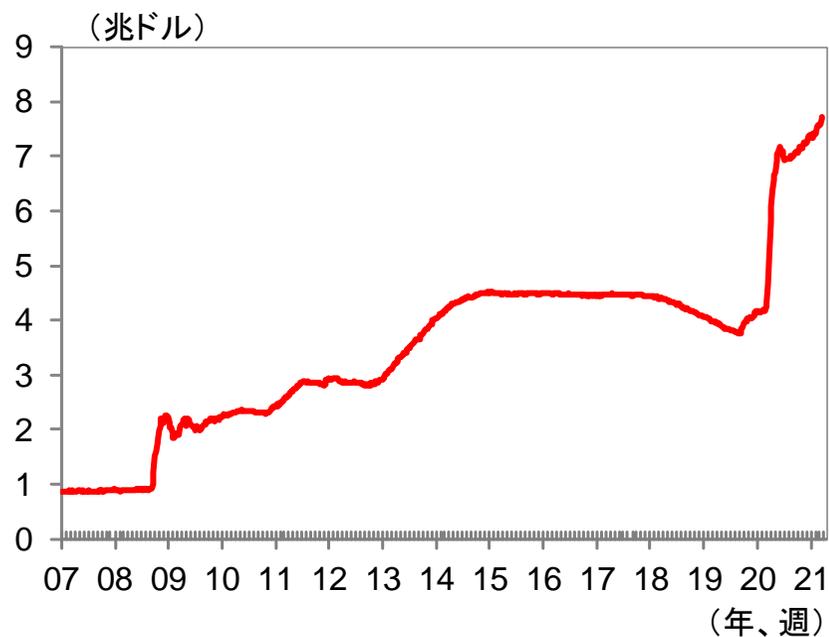
(出所)CEIC

米国景気概況：金融政策～FRBは量的緩和の長期化を確認

FRBは、3月16日～17日に開催した連邦公開市場委員会(FOMC)で、ゼロ金利政策と量的緩和策の継続を決定した。また、会合後に公表されたFOMC委員の経済見通しでは、ゼロ金利が少なくとも23年末まで続くとの中心シナリオが、昨年12月に示された前回見通しから維持された。

金融市場は、長期金利が上昇基調にあるものの、株価は景気回復期待により史上最高値を更新した。

FRB総資産



(出所)CEIC

長期金利



(出所)CEIC

-
- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 - また、本資料は、講演者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
 - 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
 - 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
 - 本資料の全部または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡下さい。